

筑波大学脳神経外科診療グループ

—これから仲間になる人達へ—

筑波大学脳神経外科は、現在教官、大学院生、レジデントを含めると、約25名



(グループ全体では100名以上)の脳神経外科医が従事し、年間450件余り(グループ全体では3500件)の手術を含む脳・脊椎脊髄の専門診療を行っています。脳神経外科の診療では、医師の肉眼や手を超えるような最新の診断・治療機器の開発・導入により、さらに確実に、そして安全に多くの脳疾患が治療されるようになりました。私たちは新しい診療危機に即座に対応できる柔軟性を重視しております。その一方で、医学の長い歴史の中で養われた基本的な診断手法や手術技術の習得には10年あるいは20年もの時間が必要であり、各世代の脳外科医が協力して日々これに取り組んでいます。

「脳神経外科医になる」

脳神経外科は脳や脊髄あるいは脳血管という特殊な臓器を扱う、非常にスペシャリティの高い領域です。手術も顕微鏡下で行うことも多く、全体的には難易度は高いといえるでしょう。

一方で、脳神経外科医は「脳」だけでなく脊髄や末梢神経も扱います。神経系は全身にくまなく広がり、様々な全身の調節に関わっているため、循環・代謝などを含めた幅広い知識が要求されます。さらに、救急疾患が多いことは言うまでもありません。したがって、脳神経外科は、内科的な知識や救急対応などの臨床的スキルが一通り身につきます。医師としての基本的な知識の習得の幅がひろがることで、将来において非常に有利な点と言えるでしょう。脳神経外科の専門医としてだけでなく、将来開業などを目指す場合にも言えることです。

「筑波大学脳神経外科で学ぶ」

筑波大学脳神経外科で行っている分野は以下の通り多岐にわたっています。

- 脳腫瘍(悪性脳腫瘍、良性脳腫瘍、下垂体疾患など)
- 脳血管障害(クリッピング術、バイパス術、脳血管内治療など)
- 神経外傷
- 脊髄疾患(変性疾患、脊髄腫瘍、脊髄血管障害など)
- 小児神経外科(奇形、小児脳腫瘍、小児血管障害など)
- 機能的神経外科(微小血管減圧術、てんかん外科、定位脳手術など)
- 神経放射線
- リハビリテーション

レジデントの間は、専門的な分野を主に大学で、救急を含めた脳卒中・外傷など一般的な分野を関連施設で学びます。そして、レジデント修了までには基本的な手技や知識を身につけ、日本脳神経外科専門医の取得に備えます。また、上記の研修の中から徐々に自分の目標(サブ・スペシャリティ)を定めていくことになります。

○豊富・多様な手術・治療



筑波大学は脳腫瘍手術件数が国立大学1位を誇っています。脳腫瘍の治療では、手術以外にも陽子線治療や中性子

捕捉療法など、最先端の治療を経験することができます。脳血管障害分野では、手術では筑波メディカルセンター病院が、脳血管内治療は水戸医療センター、虎の門病院が全国トップクラスとなっています。小児神経外科手術件数も大学病院では全国トップクラスです。救急医療についても、救急救命センターを有する5施設を研修先として確保しています。このように、質・量共に豊富な臨床経験をj得ることが可能です。

○早期から術者としてトレーニング

筑波大学脳神経外科での研修コースでは、しっかりしたカリキュラムのもと、早期から術者としてトレーニングが行われます。また、希望者にはより専門性を視野に入れた研修も可能です。

これらのトレーニング制度は、他には類を見ない筑波大学の大きな特徴です。指導医にとっては負担を強いられる制度であり、リスク等を懸念し敬遠する他の大学・病院もあるようですが、筑波大学脳神経外科では、皆、自分たちがそうして学んできたので、後輩の指導には労力を惜しみません。レジデント卒業時には基本的な手術・手技をしっかりと身につけることができます。脳神経外科専門医試験の合格率が高いのはこのためです。

○多様な関連施設

茨城県内外に約20の関連研修施設があり、救急診療・脳血管障害・脊髄疾患・機能的神経外科・小児脳神経外科など各々得意とする分野を持っています。研修期間中にはそれらをバランス良くローテーションすることで、技術を磨いていきます。

茨城県内脳神経外科施設



○海外臨床留学

脳神経外科では国内外の留学を奨励しており、多くの脳神経外科医をドイツ・カナダ・アメリカ・フランス・ベトナムなどへ派遣しています。また、毎年海外から(スウェーデン、インド、ベトナム、タイ、台湾など)の留学生も広く受け入れています。

○後期研修修了後

後期研修後に、日本脳神経外科専門医試験を受験します。さらに、サブ・スペシャリティとして、●脳血管内治療

専門医・指導医●脳卒中専門医●日本脊髄外科学会認定医・指導医●神経内視鏡専門医●癌治療専門医●日本救急医学会専門医・指導医●頭痛専門医、などの専門医取得を目指すことができます。レジデント修了後は、希望に応じて専門医を取得し易い施設の勤務が可能で、高度な治療を支えている専門医の下で研修できます。

「筑波大学脳神経外科で研究する」

臨床のみならず、筑波大学では研究面でも充実しています。総合大学および研究学園都市という利点を生かして、他の研究室との共同研究も盛んに行われております。脳神経外科疾患領域の基礎・橋渡し研究も奨励されています。筑波大学脳神経外科では、脳腫瘍の血管新生、免疫治療、中性子捕捉療法、光線力学療法、MRSなどの研究の他、ドラッグ・デリバリー・システム、ロボット、ブレイン・マシン・インターフェースなどの新規分野の開拓も行っており、予防・治療・リハビリなど、幅広い分野での研究に取り組んでいます。

脳神経外科の大学院へ進学した大学院生は、高い学位取得率を誇っています。希望に応じて臨床を行いながらの研究活動も可能です。

「脳神経外科を楽しむ！」

確かに脳神経外科の研修は忙しいと思います。でも、何の仕事でも何かを得るためには必要な時期があると思いませんか？ やりがいは抜群です。皆さんが脳神経外科医であることを誇りに思えるよう、私たちは努力を惜しみません。



見学・相談 随時可能です。
教室紹介web site:
<http://neurosurgery-tsukuba.com/index.php?id=3>
☎ 029-853-3220/ FAX 029-853-3214
e-mail(秘書)neuros-saito@md.tsukuba.ac.jp
〒305-8575 つくば市天王台1-1-1
筑波大学附属病院 脳神経外科
医学医療系 臨床医学域 脳神経外科